

アクセス

駐車場へのアクセスを以下に詳しく案内しております

<https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/okinawa/info/access/>



〈那覇〉

〈車でお越しの方〉

- 国道330号沿い「安里十字路口」と「ひめゆり橋」交差点の間、浦添方面に向かって左側にあります。
- 「沖縄受験ゼミナール」ビルと「又吉内科クリニック」の間にある「LEC」のビルです。
- 駐車場は、ビルの下(2台)、また近傍に専用駐車場がございます。(ファミリーマート壺屋一丁目店脇に入る)

〈公共交通機関でお越しの方〉

- モノレール「安里駅」から2分
- バス「ひめゆり橋」から1分

外部窓口〈名護〉

会 場: 名護市産業支援センター3階
住 所: 〒905-0017 名護市大中1-19-24
開設日: 毎週4水曜日(祝日の場合は第3水曜日)
時 間: 9:00~17:00(最終受付16:00)

外部窓口〈宮古〉

会 場: 宮古島ミライヘセンター
住 所: 〒906-0013 宮古島市平良字下里1番地(公設市場2F東側)
開設日: 奇数月/毎週第4金曜日(祝日の場合は第3金曜日)
時 間: 10:00~17:00(最終受付16:00)

外部窓口〈八重山〉

会 場: 石垣市商工会館
住 所: 〒907-0013 石垣市浜崎町1-1-4
開設日: 偶数月/毎週第4金曜日(祝日の場合は第3金曜日)
時 間: 10:00~17:00(最終受付16:00)

INPIT沖縄県知財総合支援窓口

〒902-0067 那覇市安里2-9-10 丸姫産業第2ビル2階(LEC東京リーガルマインド 那覇本校内)

Tel.098-916-0002 Fax.098-916-0003

e-mail: inpit-okinawa@lec-jp.com

URL <http://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/okinawa/>



〈知財総合支援窓口直通〉

Tel.098-916-0002



独立行政法人

工業所有権情報・研修館

※INPITは「インピット」と読みます

INPIT沖縄県 知財総合支援窓口の

ご案内

知的財産のあれこれ、
なんでもご相談ください

相談
無料

秘密
厳守

開設時間

常設窓口(那覇)
毎週 月～金曜日(祝日を除く) / 9:00～17:00
外部窓口(名護)
毎月 第4水曜日 / 9:00～17:00
外部窓口(宮古)
奇数月 第4金曜日 / 10:00～17:00
外部窓口(八重山)
偶数月 第4金曜日 / 10:00～17:00

〈知財総合支援窓口直通〉

Tel.098-916-0002

Fax.098-916-0003

e-mail: inpit-okinawa@lec-jp.com

URL <http://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/okinawa/>



「知財総合支援窓口」とは

中堅・中小・ベンチャー企業等が抱える特許や商標など知的財産に関するさまざまな悩みや課題について幅広く相談を受け付け、窓口担当者が解決に向けて支援を行います。

また、より専門的で高度な支援が必要な相談には、弁理士・弁護士等の専門家や支援機関と連携して、協働で支援を行います。



例えば

- 特許、実用新案、意匠、商標等の知的財産制度の活用方法を説明します。
- 特許・商標等の出願～権利化までの手続き・費用等を説明します。
- 先行技術調査に必要なJ-PlatPatの検索方法を説明します。
- 海外への特許、商標出願方法について説明します。
- 海外展開する際の知財リスクの回避方法について説明します。
- 電子出願端末を用いた手続きを支援いたします。
- 知的財産に関する各種支援制度について紹介します。

秘密厳守

相談無料

〈ご相談の流れ〉

Step
1



まずはご連絡ください!

相談を希望される方は、あらかじめお電話やメール、FAXをお願いします。

Step
2



窓口担当者がご相談にお答えします。

- 窓口での支援
- 状況に応じて訪問支援

Step
3



必要に応じて知財専門家等が支援を行います。

- 弁理士・弁護士等専門家の相談支援
- 専門家との同行訪問支援
- 中小企業支援機関と連携した支援

Step
4



フォローアップ支援を行います。

ご相談後も新たな知財ニーズの発生や知財経営のステップアップに向けたフォローアップ支援を行います。

●窓口担当者の紹介●



宮川 準

これまでの知財関連事業への従事経験から、相談者からのお話を丁寧に伺い、事業者の皆様の今後に必要な項目を整理し、自身で対応できないことについても、適切な知財専門家或いは他の支援機関との連携を通じて皆様をご支援したいと思います。



原田 昭明

平成30年度より相談窓口担当となりました。特許事務所に長年勤務しておりましたので、知財の実務経験を活かしたアドバイスができるよう頑張ります。



金城 泉

これまで電子部品メーカーで知的財産に関わってきました。事業をされている皆様に寄り沿い、丁寧に話を伺います。知的財産を軸に、事業の課題解決および更なる事業成長に繋がるよう支援させていただきたいと思っています。



木戸 耕一

令和2年度より相談窓口担当となりました。これまで電機メーカーで設計開発、知財部の業務を経験してきました。これらの実務経験を活かし、知財により事業が拡大成長していくよう、ご相談される皆様の立場に立つたご支援をしていきたいと思っています。



支援事例①

知的財産の見える化による社内体制整備

株式会社エレドック沖縄

【企業概要】

当社は、主にエレベーターのメンテナンス業務を行うために、20有余年前に設立された企業です。多種の製造会社のエレベーターを取扱い、それぞれのエレベーターの癖、特徴を把握し、各社の機種ごとの保守方法、トラブルシューティング方法を独自に確立しています。

【窓口活用のきっかけ】

商標登録出願は既に行っていたものの、企業における知的財産活動を積極的に実施していなかった会社に対して、企業における知的財産活動には様々な効果があることを説明し、具体的活用事例を紹介したところ、「当社でも是非とも行いたい」とのごことでありました。特に「知的財産の見える化」すること、「創意工夫の促進による社内での活性化」するなどの効果を得たいのごことでありました。

【相談概要】

専門家（弁理士）から、同社において従来は属人的に蓄積されていたメンテナンスノウハウを、同社の知的財産として蓄積し、各技術者が共有・活用できるように、社内システムとしてノウハウ共有データベースを構築することについて指導を受けました。また、各技術者の当該データベースへの新たなノウハウの提案・提供に対する質的・量的な報奨制度の仕組み作りについて指導を受けました。同社が成長するにつれ、技術者の高齢化も進んできたことから、ベテラン技術者の活躍の場を高所作業から地上作業に広げるべく、機械式駐車装置やフィットネス機器などのメンテナンス業務という新分野にも注力することにされました。



支援事例②

楽器に関する考案を特許出願し製品化

沖縄三線ファクトリー うるま屋

【企業概要】

当社は、建設会社の経営者が別途開業した、沖縄の三線（三味線）を製造販売する、工房兼店舗です。趣味で三線演奏を嗜んでいましたが、趣味が高じて三線を改良・修理する技術を身に付け、今回の特許出願に関連する新製品を核とした、新たな事業を立ち上げた経緯があります。

【相談概要】

開発中の三線の製造過程や製品に特許性があるか、特許出願した方が良いかのご相談に対し、専門家（弁理士）を派遣し、胴の表面にポリエチレンテレフタレートを固着させ、表面の張力を維持する方法に関して特許性が見いだせるのではないかとアドバイスをを行いました。また同相談者が有する楽器関連の部品（演奏時に用いるバチ）についても特許、実用新案などの活用可能性を示しました。

その後、相談者は三線本体とその製造方法に関して特許出願を行い、部品に関しては実用新案登録出願を行いました。出願後、県内の発明品の展示会出展と同時に店舗の開業を行い、製品の販売を開始しました。販売開始に合わせて、販売価格をどう設定すべきかとの相談がありました。県内では海外産の三線の普及につれ、価格は下落する傾向にあり、どのような価格水準に設定すべきか判断が難しい状況です。そこで、よろず支援拠点と連携して販売戦略の支援を行い、製品に合せた販売ルートの考え方や販売促進の方法、原価計算を踏まえた価格設定の方法についてアドバイスを行いました。



その他の支援事例はこちら

<https://chizai-portal.inpit.go.jp/supportcase/?location=47>

